

認知症の方への接し方

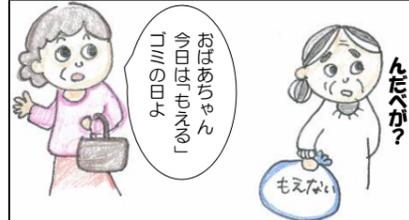
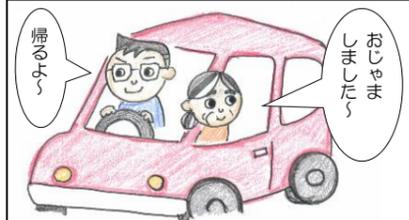
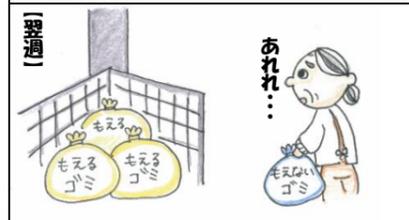
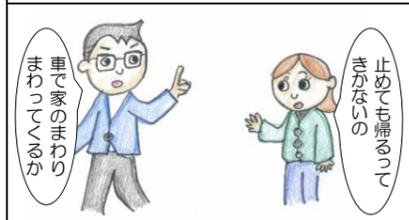
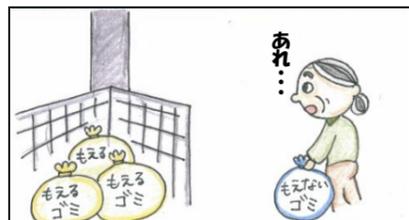
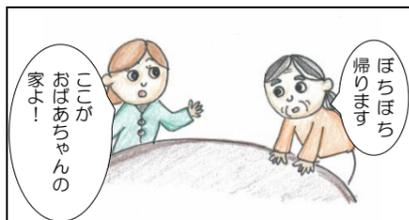
認知症の方への対応は「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」の3つの「ない」を基本に、ご本人の気持ちになって対応することを心がけましょう。周りのかかわり方しだいで、症状を和らげることができるのです！！

そんな時は
こうしてなんしょ

ご飯を食べたことを忘れて
いるのか、「ごはんはまだか」
と何度も何度も聞かれます。

夕方になると、ソワソワしだ
して、荷物をまとめ、家に帰
ると言い出します。

最近、ゴミの分別ができてい
なかつたり、曜日も間違っ
てしまうようです。



食事したことを忘れてしま
い、空腹も感じられなくな
っていることも。自分の食事が
あるのかわからないのか不安です。
何度も言っている、初めて
言っていると思っています。

最近の記憶が薄れて、今いる
場所がどこなのかわからず、
大変不安な気持ちです。昔の
ことを思い出し、自分の生ま
れ育った家に帰ろうとして
いる場合もあります。

ゴミの出し方を間違えるよ
うになった、地域の集まりに
顔を出さなくなった等の
ちょっとした変化が、声をか
けるきっかけになります。地
域の見守り、日頃の声掛けが
とても大切です。

- まずは気持ちを受け止める
- 「もうすぐできからね」
- 「～して待ってて」と、気持
ちをそらす
- ×「さっき食べたべした」
- ×「何回言えばわがんだよ」

- 「泊まって行って下さい」
- 「お風呂入って行って」
- 「だんだんご飯だから」
など、気持ちをそらす
- ×「ここが自分ちだべ」
- ×「勝手に出歩かねえだよ」

- 地域でも認知症への理解
を深める
- 役場や地域包括支援セン
ターなどに相談してみる
- ×気にはなるが、余計なお世
話かと思ひ何もしない

会津坂下町認知症ケアパス

今、認知症は私たちにとても身近な病気です。早く気付いて受診したり、適切に対応することで、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができます。

< 認知症は早期発見・早期対応が大事です >

□同じことを言ったり
聞きたいする



□好きだった趣味や、
日課をしなくなった



□ささいなことで
怒りっぽくなった



□置き忘れやしまい
忘れが増えた



「あら？なんだか変だな？」と思ったら、まずはかかりつけ医や
地域包括支援センターなどに早めに相談しましょう。

会津坂下町地域包括支援センター

0242-84-2700

会津坂下町生活課保険年金班高齢者支援係

0242-84-1513

発行：会津坂下町生活課保険年金班 電話 0242-84-1513
会津坂下町ホームページで介護保険の情報を掲載しています。
ホームページ <http://www.town.aizubange.fukushima.jp>

会津坂下町介護保険

検索



会津坂下町ホームページ

	年齢相応の物忘れ	物忘れや意欲の低下は増えてきたが普段のことはできる	誰かの見守り、支えがあれば日常生活が送れる	日常生活全般に手助けや介護が必要になった	常時介護が必要になった
日常生活の様子	<ul style="list-style-type: none"> 目の前の人の名前がでてこない 物の置き場所が思い出せない 何を食べたか思い出せない 約束をすっかり忘れてしまう 曜日や日付を間違えてしまうことがある 	<ul style="list-style-type: none"> 置き忘れやしまい忘れが目立つようになる 財布や通帳など大事なものをなくすことがある 何度も同じことを言ったり聞いたりする 買い物に行くと、同じものばかり買ってくる イライラして怒りっぽくなる 何をするのもおっくうで、趣味や日課をやめてしまう 買い物や金銭管理などこれまではできたことにミスが目立つ 	<ul style="list-style-type: none"> よく知っている場所で道に迷うことがある 名前、住所が言えなくなる 服薬管理、金銭管理ができない ガスの消し忘れなど、火の不始末が多くなる 歯の手入れをしなくなった 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅内でもトイレの場所がわからなくなる 家族のことがわからなくなる 物を見てもそれが何かが分からない 着替え、食事が上手にできない、または時間がかかる 排泄の失敗が増えてくる 	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ寝たきりで、身の回りのこと全般に介護を要する
生活上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ◆適度な運動、バランスの良い食事を心がけましょう ◆気になるときはかかりつけ医に相談しましょう ◆趣味の活動を続けましょう ◆地域の活動にも参加しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆規則正しい生活を送り、見守ってもらう人を増やしましょう ◆服薬管理ができる体制を整えましょう ◆かかりつけ医から専門の医師を紹介された時は、受診しましょう ◆介護保険サービスを検討しましょう ◆地域包括支援センターに相談してみるのも良いです 	<ul style="list-style-type: none"> ◆介護保険サービスを活用しましょう ◆担当ケアマネジャーと相談しましょう ◆地域包括支援センターに相談するのも良いでしょう ◆お金の管理や契約について考えましょう ◆見守りのための支援を活用しましょう ◆万が一の徘徊等に備えて居場所が分かる携帯用品等を準備しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日常生活全般の支援を受けましょう ◆定期的に受診する支援を受けましょう ◆生活環境を整えましょう ◆安全な環境を整え、季節に合わせて可能な範囲で外出の機会を持つのも良いです ◆住まいを選択しましょう ◆本人や家族の事情により、自宅か施設かを検討しましょう ◆在宅介護継続の場合は、在宅医療サービスも検討しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆水分摂取を心がけましょう ◆口の中を清潔に保ちましょう
対応のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ◆大事なことはメモをとる ◆ゆっくり短い言葉で伝える ◆人のしぐさや表情に敏感になります ・表情や態度に気を付けましょう ◆本人ができることは積極的にこなしてもらい、役割を持ってもらいましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆説得よりもその場の納得！本人の気持ちをなにより大切に！ ・説得することは控えましょう ・一旦気持ちを受け止めることが大事です ・時間をおくことで気持ちが変わることもあります ◆得意分野を生かす ・アルツハイマー型認知症の場合、身体で覚えている記憶は残っていることが多いので、趣味や仕事で培った得意分野を生かすと、心の安定につながります 	<ul style="list-style-type: none"> ◆昔の思い出話をしたり、なじみの歌を聞いたり歌ったりする ・忘れがたい出来事や思い出に触れると、その時の生き生きとした気持ちがよみがえり、今の自分の存在を実感し不安が軽減されます 	<ul style="list-style-type: none"> ◆身体管理を十分に ・身体状況の悪化が認知症状の悪化原因になることが多いです ・食事量の低下、下痢、発熱等、体調に変化があれば主治医に相談しましょう ◆言葉でのコミュニケーションが難しくなります ◆見る・聞く・触れるなどの感覚に働きかけることが有効です ・手を握る、背中をさするなどのスキンシップは安心感を与えることができます 	

まずは、認知症に早く気付くことが大切です。認知症の経過によって、ご本人や周囲が気を付けるポイント、また利用できる支援も変わっていきます。この表をご覧ください。

実際の支援内容やその機関・メモ	相談できる場所	会津坂下町地域包括支援センター・会津坂下町生活課保険年金班（相談対応した担当者は、 ）
		居宅介護支援事業所（担当のケアマネジャーは、 ）
	受診できる場所	かかりつけ医（病院は、 ・担当の医師は、 ）
		認知症疾患医療センター：竹田総合病院・認知症の診療を行っている医療機関：福島県立医科大学会津医療センター附属病院、会津中央病院、会津西病院、飯塚病院、坂下厚生総合病院、高田厚生病院、など
	通う場所	地域の集まり：認知症カフェ、ふれあいいきいきサロン、など
	介護	介護保険などのサービス：訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション（デイケア）、など
住まい	養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、など	
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、など	
権利を守る	日常生活自立支援事業（あんしんサポート）：会津坂下町社会福祉協議会	
	成年後見制度：会津坂下町地域包括支援センター、会津坂下町生活課保険年金班	